

2024 年 11 月 26 日

幼児教育学科国内研修旅行に向けての視察 報告

～他短大の実践から幼児教育学科の未来を話し合う～

日時：9 月 24 日（火）13：30～15：00

場所：A202

参加者：太田、石野、ウエスタハウト、上野、柴田、百海、中村、三浦、村上、米川、森田、
山田、喜多

担当：中村、石野、村上（司会・書記）

＜視察の目的＞

他短大を視察し、国内研修旅行の交流先を決めるとともに、視察先の教育や子育て支援を見学し、今後の本学科の事業や取組の参考とする。

1. 視 察 日 令和 6 年 9 月 5 日（木） 愛知文教女子短期大学
令和 6 年 9 月 6 日（木） 愛知学泉短期大学
令和 6 年 9 月 17 日（火） 千葉明德短期大学
2. 担 当 村上知子、中村明成、石野友子
3. 視察内容 養成校の見学（教育内容・設備）、保育施設の見学、子育て支援施設の見学
交通手段、実施時期、費用面に伴う参加学生の確保等の検討

《愛知文教女子短期大学》 国内研修先の第一候補

10：00～ 子育て支援施設 見学

13：00～ 令和 7 年度の国内研修相談

- ・実施時期は令和 7 年度 3 月頃を予定（案）
- ・国内研修の目的を達成するため、初回はテーマを設定し実施するのはどうかと提案あり

- ・第 1 回テーマは「保育におけるリスクマネジメント（案）」とし、具体的な内容について検討

（金城短大）地震発生時の保育対応について学ぶ
（被災地域の保育現場の対応事例など、
先生を招いて講話いただくなど）

（愛知文教女子短大） 災害時のアレルギー除去食の対応

（3. 11 でアレルギー除去食を提供した実績を活かして）



上記のテーマや、他大学との交流経験があることから、第1回国内研修は愛知文教女子短大が金城短大を訪問することを希望。また、学校の設備等も見学したいとのこと。以降は隔年で計画。

- ・参加学生の確保に関して、学びと楽しみのある有意義な研修にするために、幼児教育の学びと文化的学び（例えば、金沢を散策し石川のお菓子文化に触れる体験など）を取り入れ、学生にとって魅力的な研修になるよう計画していく。

愛知文教女子短大は韓国やニュージーランドの研修を実施しているが、他大学の交流研修は初めてで、

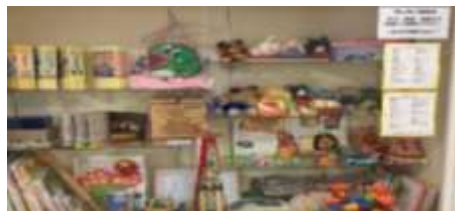
実現の可能性はあるが、互いに教授会で提案し承認を得る必要がある。今後は、連絡係として教員を配置し計画をすすめていく。

＜その他 学科の履修制度について＞

- ・選択できる履修期間 短期間で学び保育者を目指す2年制と仕事やアルバイトと両立しながらじっくり学ぶ3年制を設け、学生の多様な学び方を支援している。

《愛知学泉短期大学》

- ・新校舎が完成し、移転したばかりで設備が新しく、きれいで広い。
- ・准学校心理士・認定絵本の資格取得が可能で、保育士・幼稚園教諭の免許状に付加価値をつけることで短大の魅力アップを目指している。社会福祉主事任用資格取得の可能で公務員志望の学生の呼び込みや、公務員試験対策に力を入れている。
- ・音楽棟があり教育環境、教育設備が充実している。
- ・最寄りの駅からバスで30分ほどのかかるため、循環スクールバスを出している。
- ・食物栄養科があり、食物アレルギー対応に強い保育者養成を行っている。
- ・学科案内ポスターなど、ビジュアル・デザインへのこだわり「映える」意識が強い印象。



《千葉明德短期大学》

10:00～ 子育て支援施設（短期大学内） 見学

図書館 見学

- ・「たいむ」の隣に位置し、図書館内にマットコーナーやソファなどがある。



- ・保育室のように背表紙ではなく、表紙が見えるように本が並べられ、推薦図書があり、学生が本を手に取りやすく、選書しやすい環境である。保育の単科であるため可能なのかもしれないが、参考にできる点



は多い。

- ・実習時に必要な絵本が充実しており、普段は1冊だけ出しているが、子どもに人気のある本や実習時に人気な本は3冊程度あり実習前に貸し出している。大型絵本の貸し出しを行っており、学生ニーズに対応できるよう工夫されている。絵本の冊数が多い。同一絵本の複数購入や大型絵本の貸し出しなど、本学の図書館制度についても改めて検討が必要である。

実習について

- ・明德短大では1年次に1年間かけて1週間実習を行い、2年次に残りの3週間実習に行く。そのため、1年次の実習は1か月に1回行き、教員が添削の上1か月かけて記録を仕上げていく。スモールステップでゆとりある学びができるようにし、2年生は分散実習を検討するなど試行錯誤し取り組んでいる。
- ・1週間に1日実習へ行くことを考えるとカリキュラム上の難しさがある。学生にとってより良い実習のために、今後どのように実習を実施していくか本学も検討していく必要がある。
- ・タイムパフォーマンス、コストパフォーマンスを重視する現代の学生ニーズや、資格取得を目指さない学生に対応するためには、学生がモチベーションを維持しながら学びを継続できるよう選択科目を設けるなど、さまざまな視点から可能性を探り検討することが必要である。

その他情報交換

高校生を対象とした保育体験の開催

- ・明德短大では、入試やオープンキャンパスの日だけでなく日頃から開催しており、保育体験を開催している。定員は5名で土曜日に実施。保育体験に参加し、うまくいくと入学に結びつくが、中には他の短期大学を志望している高校生でも体験に来ることもある。
- ・入試広報部には保育経験のある方がいて、保育体験に同行し、教員と一緒に体験をサポートできる体制が整っている。また、保育現場の先生も高校生への対応が上手になり、充実した体験ができることで入学につながっている。
- ・入学の決まった高校生の入学前教育として保育の楽しさを知るプログラムとしても良い。

<国内研修視察報告を受けての話し合い>

- ・国内研修先は、出来れば愛知文教女子短期大学と提携したい。
- ・幼稚園実習で挫折したり、期間が長いことを不安がったりする学生もいるため、千葉明德短大の実習の取り組みを参考にし、本学の学生に合う実習体系を構築していきたい。
- ・他短大の取り組みを参考にし、幼児教育学科の未来を見据えて、必要な改革を行っていきたい。